

- ① 新刊書の事前情報です。配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願い致します。希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきますのでご了承下さい。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。併せてご利用下さい。

通巻 **269** 号

帖合・番線	部数	<p>法政大学出版局 2017年11月10日配本 定価5184円(本体4800円+税) A5判上製・288頁</p> <p>相原 博 著</p> <h2>カントと啓蒙のプロジェクト</h2> <p>ISBN978-4-588-15084-5 C1010</p> <p>近代的人間理性を批判するにあたって、カント哲学を「自然支配の理論」とみなして標的にしたペーメ兄弟の議論は正当なものであったのか? 啓蒙のプロジェクトの再検討を促した問題作『理性の他者』に反論すべく、『判断力批判』の議論を「自然の解釈学」として捉え直し、未規定の自然を象徴的に理解する能力としての反省的判断力の解明を通して、カント自然美学を体系的に把握する気鋭の研究。 【哲学】</p> <p>☆関連書:ヘンリー・アリソン『カントの自由論』、マルティン・ゼール『自然美学』(小局刊)。</p>
帖合・番線	部数	<p>法政大学出版局 2017年11月17日配本 定価4320円(本体4000円+税) 四六判上製・354頁</p> <p>ギュンター・フィガール 著/齋藤 元紀、陶久 明日香、関口 浩、渡辺 和典 監訳《叢書・ユニベルシタス1071》</p> <h2>問いと答え</h2> <p>ハイデガーについて ISBN978-4-588-01071-2 C1310</p> <p>★ ドイツのハイデガー協会会長を長らく務め、現象学・解釈学研究の泰斗として知られる著者による、哲学者との「開かれた対決」を示す論集。ハイデガーの肖像論に始まり、フッサールとの対立および緊張関係、アリストテレスやプラトン、ニーチェやユンガーとの思想的対決など数々の主要テーマを論じた、15篇の論考ほかを収録。存在の思考、出来事としての哲学のさらなる理解のために最適の書。 【哲学・思想】</p> <p>☆関連書:秋富克哉、安部 浩、古荘真敬、森 一郎編『ハイデガー読本』『続・ハイデガー読本』(小局刊)。</p>
帖合・番線	部数	<p>法政大学出版局 2017年11月22日配本 定価4644円(本体4300円+税) 四六判上製・284頁</p> <p>ドリンダ・ウートラム 著/田中 秀夫 監訳/逸見 修二、吉岡 亮 訳 《叢書・ユニベルシタス1072》</p> <h2>啓蒙</h2> <p>ISBN978-4-588-01072-9 C1310</p> <p>★ 啓蒙思想が開いた18世紀の当時から今日に至るまで、「啓蒙とは何か」を定義することは困難であり続けている。それは、啓蒙期に生じた根本的な価値観の変化が今も世界を規定していることと無縁ではない。啓蒙思想が生じた社会的背景から、統治や経済に与えた影響、奴隷制、自然科学、宗教、そして革命との関係に至るまで、総合的に読み解き、啓蒙の抱える矛盾や破壊性をも描き出す、入門書の決定版! 【哲学・思想】</p> <p>☆関連書:ロイ・ポーター『啓蒙主義』岩波書店、マリオ・インフェリーゼ『禁書』(小局刊)。</p>
帖合・番線	部数	<p>法政大学出版局 2017年11月24日配本 定価4320円(本体4000円+税) A5判上製・352頁</p> <p>阿部 崇 著</p> <h2>ミシェル・フーコー、経験としての哲学</h2> <p>方法と主体の問いをめぐって ISBN978-4-588-15085-2 C1010</p> <p>★ あらゆる経験的な価値を自明なものとせず、その自明性を歴史的な生成過程のうちに置き直すフーコー。「権力」「狂気」「性」の系譜を洗い出しながら、その意味を鍛え直し、変容させ、新たな概念を立ち上げ、分析の領域を拓き、哲学的思考の新たな様態を導入する。主体、統治、真理、歴史、考古学から系譜学へ。フーコーの思考の変動を動的に描き出し、その《哲学》とともに新たなフーコーを誕生させる。 【哲学・思想】</p> <p>☆関連書:フーコー『レーモン・ルーセル』、グロ『フーコーと狂気』、ロート『カンギレムと経験の統一性』(以上、小局刊)。</p>
帖合・番線	部数	<p>法政大学出版局 2017年11月上旬配本 予価4104円(本体3800円+税) 四六判上製・350頁</p> <p>ヴァンフリート・メニングハウス 著/伊藤 秀一 訳 《叢書・ユニベルシタス356》</p> <h2>無限の二重化</h2> <p>〈新装版〉 ロマン主義・ベンヤミン・デリダにおける絶対的的自己反省理論 ISBN978-4-588-14048-8 C1310</p> <p>ヤコブソンの構造主義詩学の根本命題を基点に、文学テキストの無限の展相的生成の力学を解き明かす。ベンヤミンとデリダを綿密に読解しその理論の関連づけを図る。</p> <p>【哲学・思想】</p> <p>☆関連書:メニングハウス『吐き気』(小局刊)、『美の約束』(現代思潮新社)。</p>

ご担当者様 氏名: [] 担当ジャンル: [] TEL: [] E-mail: []

- * 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
- * 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。
- * 今後、新刊内容のデータ等をeメールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。